

リーディングプロジェクト中間まとめ

A

ごみ目隠し実行作戦

III

プロジェクトの意義 / 目指す姿

歌舞伎町を歩いていて目の前にある汚いもの（ごみ）がすべて消えるまちの姿をつくることを目指す

既存プロジェクトとの関わり

ゴールデン街の事業ごみの収集方法や課題も参考にさせてもらう

プロジェクトの実施場所

モデル的にまずは1丁目のビル1棟単位からスタート

複数のビルに連鎖させる

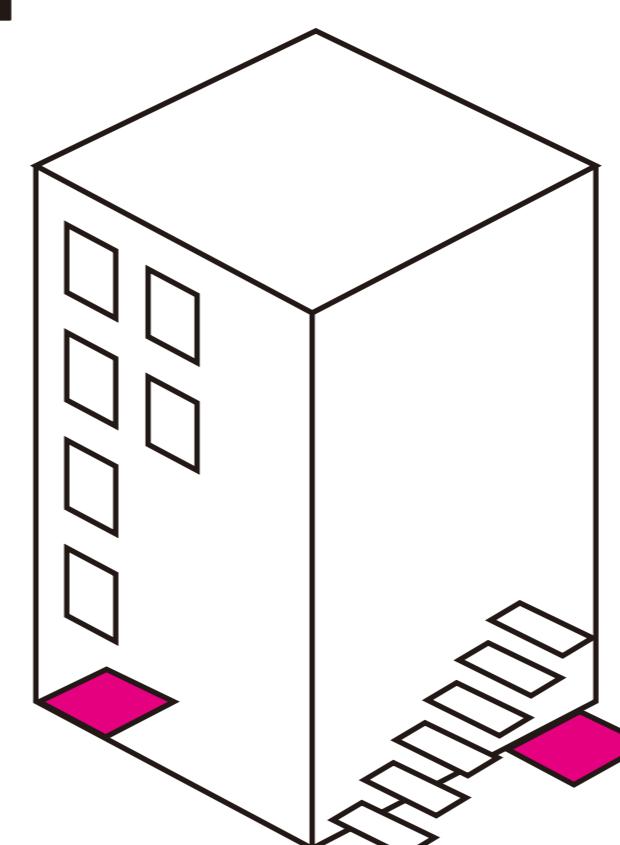
エリア単位に広げて実施

段階的に拡げていく

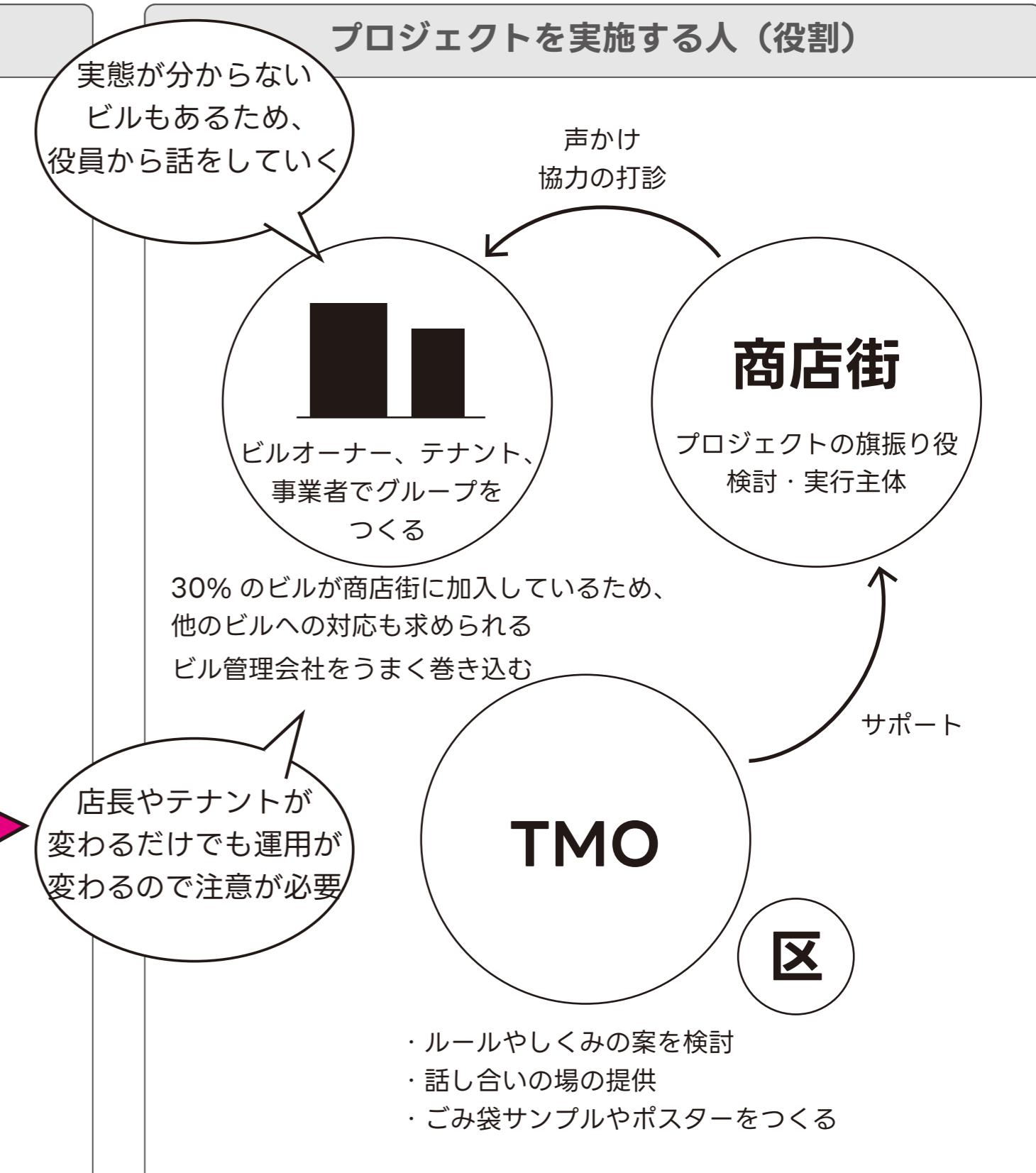
プロジェクトの内容

道路上へのごみ出し・収集を廃止し、「主に事業用のごみ出しのルールを変える」

- 事業ごみが家庭ごみの収集場所に乱雑に出される課題を解決するために、事業ごみの収集ルールを事業者責任による回収に徹底する
- ビルやエリア単位でポイ捨てされにくい民地の収集場所をつくれるように促す
- AI解析の防犯カメラや鍵付きの小屋型収集所を設置して捨てられないようにする
- 巨大な普及ポスターによる徐々にルールを浸透させていく
- 有料ごみ袋の色を変え、許可しているものだけ捨てられるような工夫も必要



実際の位置は、敷地ギリギリに建物が建っているため、建物の中になりそう



実現のためのステップ

①商店街の役員を中心に相談しながら、実施できそうな場所を決めて、話を持ちかけてみる

②新宿二丁目で実績のある「ふたみ商事」の方を招いて、実施に向けた詳しい話を教えてもらう

③TMO や区とも相談、ビルオーナーとも合意形成しながら、賃貸借契約への記載など、実際の運用に向けた方法を決める

—— 実際にやってみる・効果をみながらエリアを広げる ——

④最終的には、建築の際のごみ捨てスペースの附置義務を自主ルールとして区に認めてもらえると良い
ムチが厳しい場合はアメも検討する

自分はこんなことできそう / 手伝えうこと

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

CLEAN & SAFETY
該当プロジェクトである

プロジェクトの意義 / 目指す姿

将来的には滞留者対策をしたいが、簡単には排除できないのでクリーンなイメージのアクションで上書きする

既存プロジェクトとの関わり

商店街で実施している事業で、目白学園・モード学園の生徒が冬場に実施するイベントアイデアを募集し、プレゼンしてもらつたことがある
現状はアイデアをもらうだけで、次に活かせていないため、何か形にできると良い

プロジェクトの実施場所

シネシティ広場、ハイジアの低層部、大久保公園を中心歌舞伎町全域で実施

恒常的な関わりがあると良いので、展示空間などでも使いたい

ハイジア

大久保公園

シネシティ広場

ハイジアをまちづくりに引き込めないか

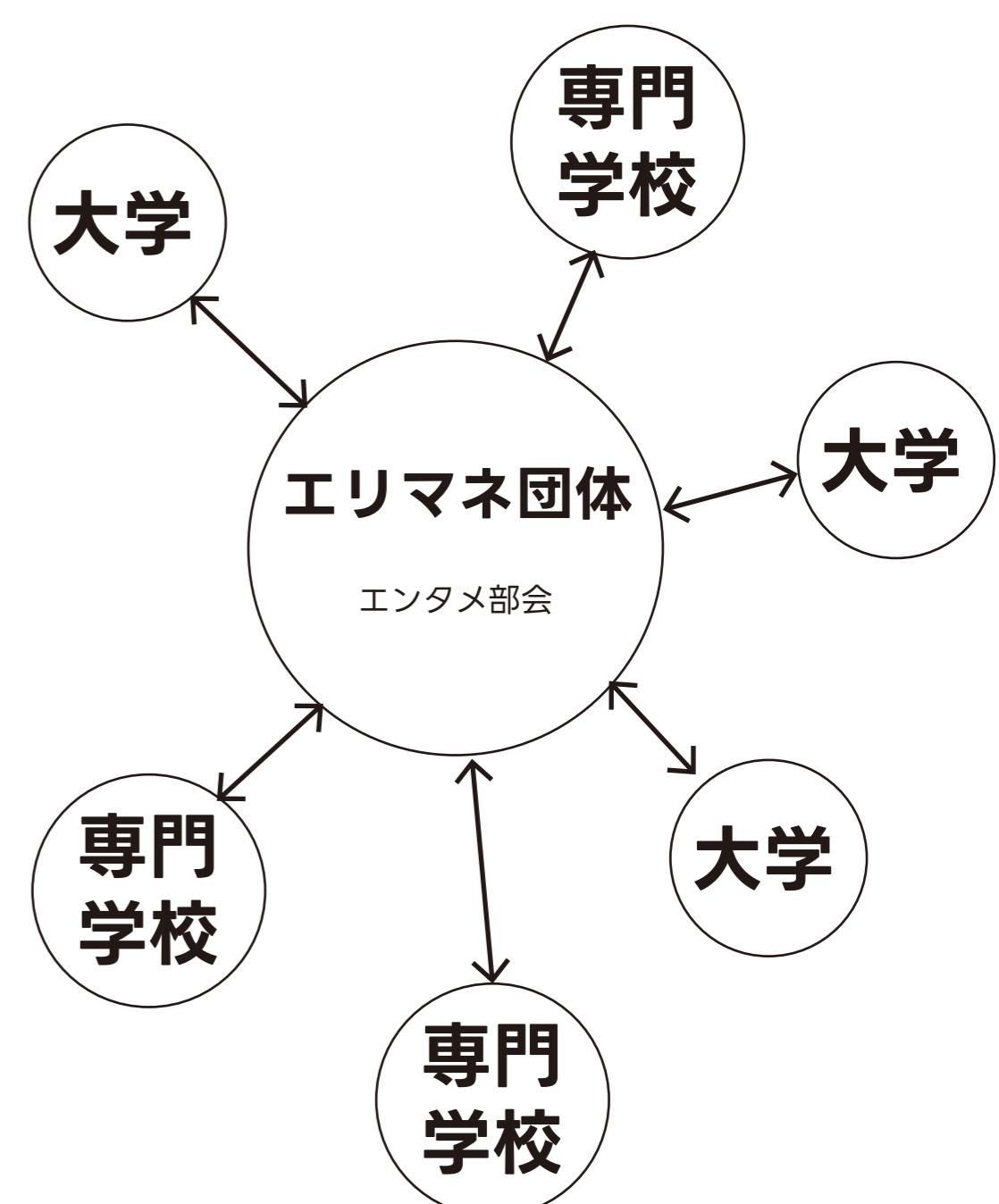
東宝ビルのエントランスのPRも学生と一緒にできるとおもしろい

プロジェクトの内容

クリーンなイメージの強い大学生や専門学生と協働で賑わい／空間づくりのアクションでイメージを上書きする

- アートや音楽など、多様なアクションを展開する
- ハイジアの1階に芸術通路をつくってシネシティ広場から大久保公園をつなげられないか
- 屋外広告物の規制を緩和して、光やプロジェクターを使ったサインや広告も実施
- 宝塚大学は映像に強いメディア芸術学部もある
- 各専門学校の学生には、勉強しているテーマに合わせたものをそれぞれ連携しながら取り組んでもらえると良い
- モード学園・文化服装学院はファッショニ系（ファッショニショーもOK）
- イベント利用も良いが、恒常に空間としてアウトプットできると良い
- NEO 東京のイメージで生徒たちにまちの様々なものをデザインしてもらう取り組みもOK
パトロール用の警備員の制服やごみ収集車のラッピングもできそう
- 工学部なども研究や社会実験のフィールドとして選んでもらえないか

プロジェクトを実施する人（役割）



実現のためのステップ

- ①たくさんある大学や専門学校と話し合いの機会をつくって歌舞伎町をフィールドにするニーズがあるか対話を重ねる
- ②地域としても、学生や先生たちの関わりしろのアイデアを考えておく
- ③エリアマネジメントのテーマや体制で実施できそうなものから、実現していく

自分はこんなことできそう / 手伝えうこと

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

クリーンなイメージで上書きすることで CLEAN & SAFETY を実現できると良い

グループ番号

プロジェクト名

該当テーマ

B

歌舞伎町ごみ0宣言！アクション

III

プロジェクトの意義 / 目指す姿

ごみを徹底的になくし、それを維持するしくみを実践する

既存プロジェクトとの関わり

プロジェクトの実施場所

- 歌舞伎町エリア全域
- イベント的には見えるところで実施も（広場？駅？）

シネシティ広場か？（広場は嫌）
西武新宿駅の前？（喫煙所のあたり）

プロジェクトの内容

- ごみのルールを検討し、「ごみ0（ゼロ）宣言」をしてステッカーや垂れ幕などで徹底的な周知をする
- 段階的に「対象とするごみ（例えはアルミ缶）」「0にする場所」を決める
- まちを徹底的にきれいにするイベント「（仮）3,000人ごみ拾い」を実施する
- ごみを回収方法、捨てられる場所、回収できる主体を調整する
(買った店で回収できる、コンビニ同士ならどこでもいいことにするなど)
- ごみ拾いをエンタメとして楽しめ、参加した人にもベネフィットがあるような運用の工夫をする
- ごみ箱の管理のしくみ体制を検討し設置する

プロジェクトを実施する人（役割）

- 路上飲みの原因となるお酒を販売しているコンビニ事業者にもコミットしてほしい
- 募金などで、来街者にもごみ減量の資金に貢献する工夫をしたい

実現のためのステップ

ベースづくり

原則持ち帰り

- ①まちのごみルールと環境づくりについて検討しまとめる
 ②ごみ0（ゼロ）宣言をする →周知・キャンペーン化する
 (垂れ幕やステッカー)
 ③（仮）3,000人ごみ拾いで一度徹底的にきれいにする
 (1日4～5回分担する)
 動画的に発信

まち中で
やっていること
をアピール
する

- パフォーマンス的にキャラクターがごみ拾いするなど
- 吉本タレントも活躍

ごみのエンタメ化

- ④ごみ拾いのゲーム化 ⇌ ベネフィット設定
 (ポイント還元)

世界一大きなごみ箱で
 パフォーマンス的に分別する

- ⑤ごみ箱の管理のしくみ、体制づくり、設置

自分はこんなことできそう / 手伝えうこと



CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

CLEAN & SAFETY
 該当プロジェクトである

プロジェクトの意義 / 目指す姿

外国人による客引きや、違法な取引など、一般の人が不安や、迷惑を感じている危険な場所がある。そこで、新たに「ここだけは公式に溜まって良い」という「クリーンなたまり場」をつくることで、クリアランスにつなげる。

既存プロジェクトとの関わり



プロジェクトの実施場所

① シネシティ広場

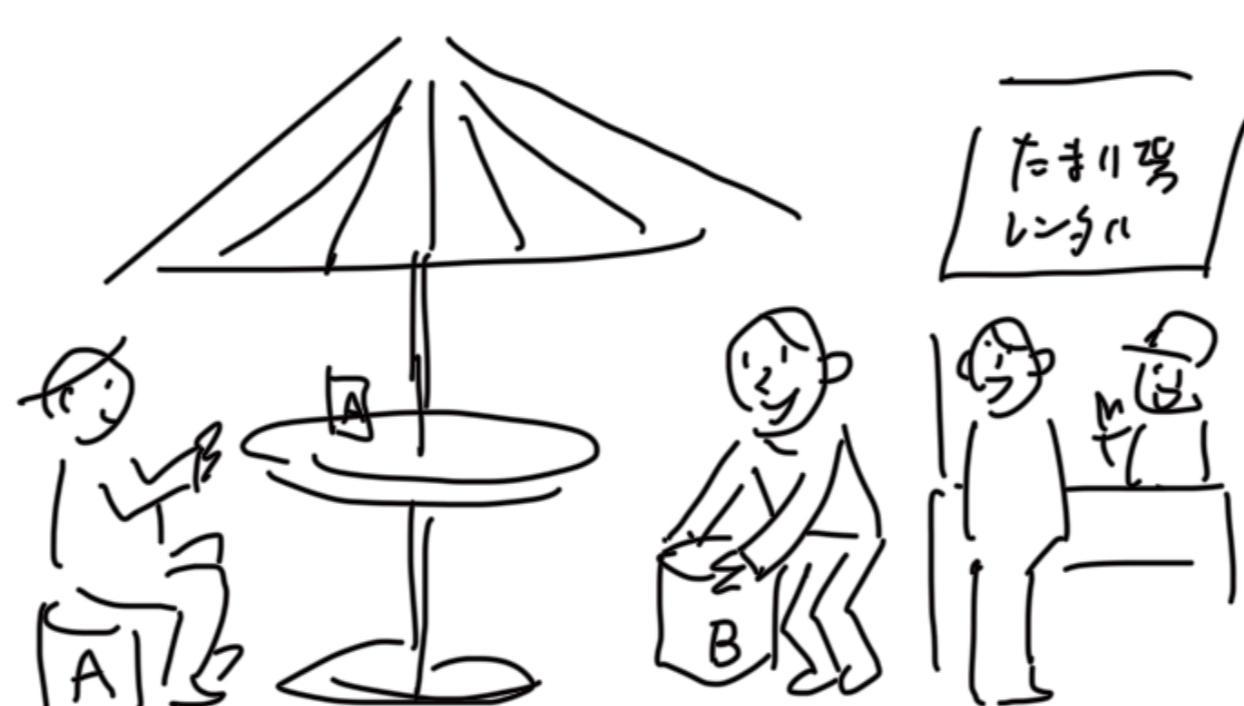
- ・現場、広場前に人が長時間溜まっている
- ・モデルエリアとしてまずここから試行する

② 四季の路

- ・ゴールデン街の入口に黒人のキャッチが溜まっている

プロジェクトの内容

- ・実施場所①②の中に、時間で切って滞留できる場所を指定しする
- ・テーブル・パラソルなどを常設し、滞留する人は有料で椅子を借りてテーブルを使用する
- ・利用ルールを決めて、ルールにあった利用を促す（少なくとも、最初はお酒 NG）
- ・ごみを拾ってくれた人には、利用料を 90%オフにするなど、地域貢献との紐付け・インセンティブをつくる



プロジェクトを実施する人（役割）

- ・管理は、TMO や近隣事業者などが担うイメージ
- ・椅子のレンタル代が収益源
- ・利用者がルールを守っているかを管理者がチェックをする

実現のためのステップ

- ・MOA 4 番街で実施されているイス・テーブルの管理の仕組みを調査する
- ・他事例（cf. セントラルパーク）を学ぶ
- ・対象エリアの主体となる事業者を探してルールを検討する
- ・モデル実施（①のシネシティ広場）
- ・モデルエリアでうまくいったら、できそうなエリアにも横展開する

自分はこんなことできそう / 手伝えうこと

- ・モデルエリアでうまくいったら、自分たちたちのエリアでの展開の可能性を検討したい

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

CLEAN & SAFETY
該当プロジェクトである

C

まち全体・官民連携で クリーン＆セーフティ宣言

III

プロジェクトの意義 / 目指す姿

道路・民地など、権限が様々に異なることも踏まえて、官民連携の体制をつくり、まち全体で取り組み、セーフティを実現する

既存プロジェクトとの関わり

既に地域では、水・木・金にビブスを着てパトロールをしている。パトロールをしている時間帯は客引きが減った。客引き防止の効果は出ている。シネシティ広場周辺の区道での若者等の滞留には注意する権限もなく対処できていない。ゴールデン街でもゴミ拾い・パトロール組織を企画中。

プロジェクトの実施場所

- 課題が顕著な「シネシティ広場周辺」への重点対策
- ゴールデン街を含めて、まち全体で展開

プロジェクトの内容

○活動する人・時間を増やす

- ・関わる人や時間を増やせるように、地域・事業者で連携してチームづくり
- ・警察と連携してパレードのような目立つパトロールを実施するのもやっていきることをアピールする上で効果がある

○ルールづくり

- ・どんな行為がダメなのか明確にする
- ・必要に応じて、後ろ盾（条例など）も検討する
- ・ルールが明確になることでアピールしやすくなる

○伝える／PR力の強化

- ・インバウンドにも伝わる内容でアナウンスを流す
- ・エンタメとも連携して聞いてもらえる放送にする

○警察・消防、区役所との連携

- ・例えば避難動線の確保など、既存の規制やルールをうまく根拠にして注意や取り締まりをする

プロジェクトを実施する人（役割）

- 地域・事業者
 - ・連携してパトロールなどの継続実施
- 警察・消防
 - ・法的な後ろ盾と安心感、PR力
- 行政
 - ・環境整備と制度設計

実現のためのステップ

①地域、事業者、警察・消防、区役所で、セーフティ方策について検討する官民連携の会議体を設ける

②クリーン＆セーフティ宣言を行う

- ・まち全体、官民連携で取り組む
- ・まちから火事や犯罪等を無くす など

③官民連携の体制でクリーン＆セーフティに取り組む

- ・官民連携で火の用心のようなパトロールの取り組み
- ・地域全体に目があることを PR・アナウンス
- ・権限の異なる「区道」「民地」等にも連携することで対応できる

自分はこんなことできそう／手伝えそうなこと

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

C

回遊性を高める 公共空間の活用プロジェクト

II + III

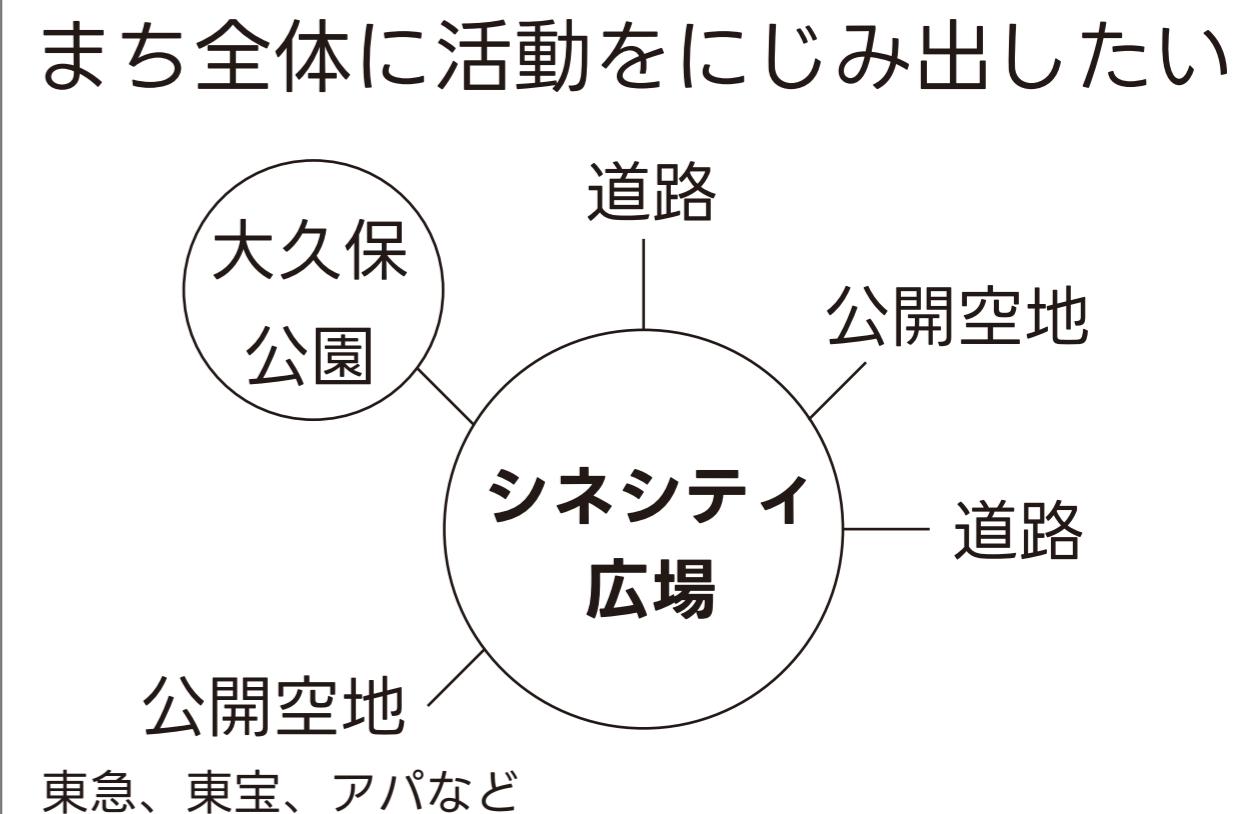
プロジェクトの意義 / 目指す姿

エンタメ視点で「日常的にできること」を仕掛け、人の目や人の流れ・活動のある状況をつくるために「シネシティ広場」の活動を周りの道路・公園・公開空地等に、活用の場を広げていく。それがセイフティなまちの実現にもつながる。

既存プロジェクトとの関わり

シネシティ広場のイベント等での利用率が非常に高いことを踏まえて、まち全体の公共空間（道路・公園、公開空地等）に活動を広げていきたい。

プロジェクトの実施場所



シネシティ広場と大久保公園の回遊性を高めるため、ハイジアとの連携を進めたい

ソフト

人の手がかかっているまち・場だと伝える

- 道路のフラワーポット／ビルのベランダや外壁に花を増やす
(火事の消火に使える造花もある)
- 例えば、商店街灯へのフラワーポットは区が設置し、地域が日常の世話を

ハード

日常的にまちの活動に使える場所を増やす

- 道路・公園、公開空地等の活用を進める
- 東宝ビル周辺、ハイジアと連携し、シネシティ広場からの活動のにじみ出しや、大久保公園への回遊動線の賑わいを高める
- 例えば路上飲み対策として、ルールに基づき屋台が出せる場所を設ける
- 四季の道でイルミネーションを行う
- ゴールデン街の入口の人が溜まっているところも活用できるかも

プロジェクトの内容

フラワーポット

区で商店街灯のポットを準備し、商店街など地域が世話をする
予算はエリマネ事業（広告など）の収益還元や補助金などを充てる

道路・公園の活用

行政 (管理者) ⇔ TMO (運営) 事業者
事業者

公開空地の活用

行政 (許可) ⇔ ビル オーナー (所有者) 事業者
事業者

実現のためのステップ

ソフト

フラワーポットの取り組みなどを広げていく

ハード
スモールスタートで
モデル的にはじめる
東宝ビル周辺やハイジアの活用
↓
まち全体の道路・公園
公開空地等の活用へ

来街者もまきこんだまち全体の取り組みへ

自分はこんなことできそう / 手伝えそうなこと

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

- 人の目による自然監視力の向上
- 割れ窓理論、管理されている場所という主張をする
- 溜まり場から居場所への転換

D

歌舞伎町クリーンチーム

III

プロジェクトの意義 / 目指す姿

【目指す姿】

- ・ごみが少なくなる、なくす
- ・歌舞伎町らしいエンタメ性や訴求力がある取り組みにする
- ・クリーンアップの実働部隊となること

【プロジェクトの意義】

- ・一部ではなく、まちぐるみで取り組むこと
- ・まちを自ら美化することの発信

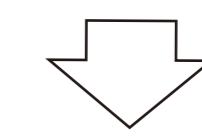
既存プロジェクトとの関わり

- ・JTによる清掃
- ・日本を美しくする会（早朝、月で？）
- ・歌舞伎町グリーン作戦
- ・グリーンバード（ゴミ拾い）

→類似の既存の活動があり、関わり方は検討する必要がある。最低限、実施目的や取り組み内容、実績の共有は必要。

プロジェクトの実施場所

シネシティ広場周辺
ゴジラロード



徐々にゴールデン街など
周辺に活動が広がっていく

プロジェクトの内容

クリーンなまちのPRと参加の仕組み+メディア化

- 歌舞伎町、主にポイ捨て回収を行うクリーンチームを発足する
- クリーンチームは段階的に発展させ、**参加の仕組みとして設える**
 - ・初動期はエリマネ団体のクリーン部会などのメンバーが中心に行う。
 - ・段階的に、ボランティア参加の仕組みを整え、チームを拡大していく
- クリーンチームは**コスチュームを統一**し、ポイ捨て回収しながらパトロールする
 - ・パトロールの実施は夜間を想定（人目につくように）
 - ・基本的にはポイ捨てのごみ回収、不法投棄を見つけた場合は区に通報する
 - ・コスチュームは色分けをして、キャラを確立させる ex) 啓発→黄 / 徹底的に拾う→赤など
 - ・東急ステージでもイベント的に啓発する
- ボランティア参加の要件を整え、発信し、参加の裾野を広げる
 - ・参加した人には勲章を授与したり、周辺店舗のドリンク券をプレゼントするなど特典を用意
 - ・コスプレ参加とする
- 情報発信を強化し、**クリーンなまちのアイコンとなる**

プロジェクトを実施する人（役割）

- ・企画会社（連携先）

↑
連携

- ・TMO
- ・商店街
- ・コスプレ団体
- ・企業（東宝・東急）

エリマネ団体の
クリーン部会を
構成

↓
テナントの参加を依頼

↓
参加募集

- ・ビルオーナー

↓
・ボランティア

実現のためのステップ

STEP 0
仕掛ける

- ・エリマネ団体のクリーン部会を中心クリーンチーム発足
- ・企画会社と連携し、コスチュームなど手配
- ・部会メンバーとプロのパフォーマーでパトロールを実施
- ・東急のステージなどで活動のPR、情報発信を行う

STEP 1
初動期

- ・ボランティア参加の仕組みを整え、情報発信する
→参加者の時間がわかるようなアプリで管理する仕組みなど
- ・周辺店舗のドリンク券提供協力依頼など
- ・ボランティア参加を促す

STEP 2
軌道に乗る

- ・活動が拡大し、メディア化して歌舞伎町のクリーンなまちとしての発信と、クリーンチームがアイコンとなって、メディア化する

自分はこんなことできそう / 手伝えそうなこと

- ・コスチューム用意、物品調達（企画会社との連携）| TMO
- ・特典（ドリンク券）の用意、ステージの使用（東急）

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

グループ番号

プロジェクト名

該当テーマ

D

ゴジラロードゴミゼロ宣言

III

プロジェクトの意義 / 目指す姿

【目指す姿】

- ・ごみが少なくなる、ゼロにする
- ・ごみを捨てにくくなる
- ・取り組みが世界に発信され、歌舞伎町のイメージが変わる

【プロジェクトの意義】

- ・歌舞伎町の象徴であるゴジラロードから始めること

既存プロジェクトとの関わり

- ・歌舞伎町クリーン作戦（毎週水曜実施）
※クリーン作戦の取り組みを拡大し、本プロジェクトと重ねるか、別のプロジェクトとして連携するかは検討が必要

プロジェクトの実施場所

ゴジラロード

プロジェクトの内容

「IP 活用 × ゴミゼロ対策」ゴジラロードでの歌舞伎町でしかできないクリーン活動

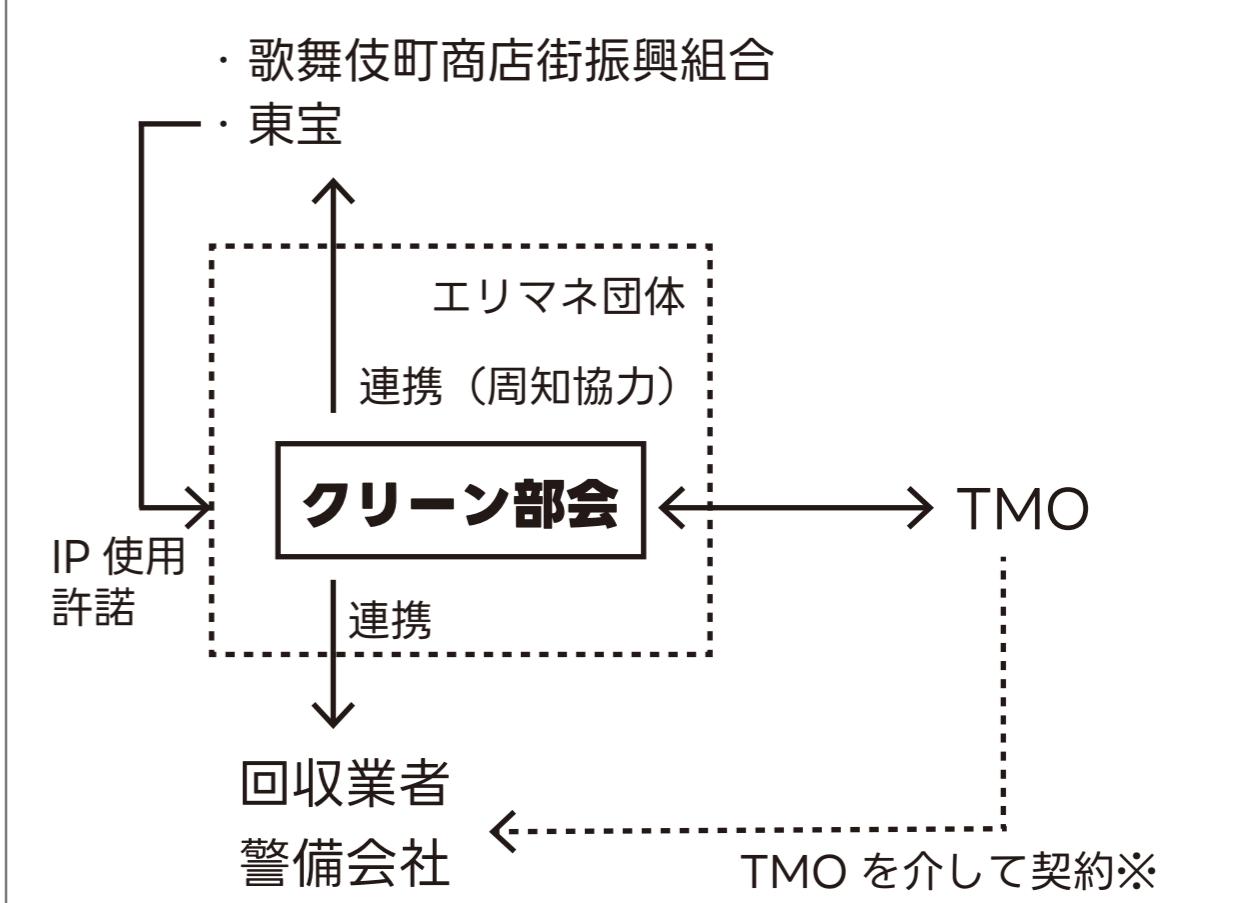
[ごみ対策]

- ゴジラロードのごみ回収（事業ごみ）の独自ルールを定め、徹底する
 - ・回収時間の統一により、ごみが路上に出てる時間を少なくする
 - ・ルールを守っている店舗（ビル）にはシールなどで認定する
- AI カメラを設置し、不法投棄の監視する
 - ・外からごみを持ち込んでくる人を監視し、不法投棄が合った場合は時間帯を記録する→警備会社等に委託
 - ・AI カメラを設置していることの掲示をする
 - ・AI カメラの設置方法については検討が必要
- ごみの量の指標を設け、ごみの多い、少ないを IP を活用して可視化する
 - ・ごみの量は事業ごみ、ポイ捨てを合わせたものとし、パトロールでその量を把握する

[IP の活用・啓発]

- キックオフではゴジラがごみゼロ宣言をする（具体的な目標設定をする）
- ごみの量によってゴジラ照明の色を変える（ごみが多いときは赤、少ないときは青など）
- 東宝ビルの壁面へのスローガン投影や、商店街の街路灯で発信し、啓発する
- ヘドラーを倒すストーリーと絡め、ごみゼロ宣言（目標）が達成された場合、終息宣言をする

プロジェクトを実施する人（役割）



※エリマネ団体の財源確保の方策による
場合によってはエリマネ団体と直接契約

実現のためのステップ

STEP 0
環境整備

●ルールづくり

- ・回収時間と場所を定めたルールの案をつくり、テナントに周知する
- ・テナントの意見をもとに、ルールをフィックス

●環境整備

- ・周辺飲食店への取り組み（ルールや取り組み趣旨、内容など）周知
- ・監視の仕組みとして AI カメラの設置、連携先との連携

STEP 1
キックオフ

●キックオフイベントを実施

- ・シネシティ広場でゴジラがごみゼロ宣言する（キックオフイベント）
- ・ゴジラロード入口への取り組み周知サインの設置
- ・ゴジラロード内サイネージを活用し、取り組みを周知する
→東急所有のサイネージも活用する

STEP 2
発信する
される

●IP を活用した情報発信を行い、発信「される」状態を目指す

- ・クリーンチームによる啓発活動
- ・定期的な情報発信（ごみ量の可視化）
- ・ゴジラの（ミスト）照明色で発信（赤 or 青）
- ・規制情報（ルール）の発信
- ・ゴジラを活用することで、来街者からも発信されるようになることを目指す

自分はこんなことできそう / 手伝えそうなこと

- ・新宿東宝ビルにスローガンを投影 | 東宝
- ・ゴジラなどキャラの承諾 | 東宝
- ・キックオフイベント企画 | TMO
- ・ごみゼロ宣言（目標設定）| 区・商店街
- ・サイネージの活用、ステージの使用 | 東急

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開

グループ番号

D

プロジェクト名

歌舞伎町映画祭&映画 WEEK

該当テーマ

I

プロジェクトの意義 / 目指す姿

【目指す姿】

- ・シネシティ広場から、歌舞伎町を映画のまちとしてブランディングする
- ・映画の口ケ地誘致にもつながる

【プロジェクトの意義】

- ・歌舞伎町にある映画コンテンツの活用
- ・まちのリブランディング
- ・歌舞伎町が舞台の映画のハイカルチャー化

既存プロジェクトとの関わり

プロジェクトの実施場所

シネシティ広場

プロジェクトの内容

歌舞伎町映画を活用し、歌舞伎町を映画のまちとしてブランディングする

【映画祭】

- 歌舞伎町を舞台とした映画作品を集め、審査をしてグランプリを決める
 - ・部門をいくつか設ける（アマチュアも参加可能な形とする）
 - ・審査員の構成など、審査の仕組みを整える
- シネシティ広場で、年に1回イベントとして実施する

【映画 WEEK】

- 映画祭の前（〇〇週間前から）に、映画祭ノミネート作品を東急のビジョンで流す
- 座席の設置など、ビジョン前で映画を見やすい環境づくりを行う

↓ 将来的には・・・

シネシティ広場のビジョンでは毎日歌舞伎町を舞台とした映画が上映されている
歌舞伎町のフィルムコミッショナの仕組みをつくり、撮影許可の緩和にもつなげる

プロジェクトを実施する人（役割）

実現のためのステップ

自分はこんなことできそう / 手伝えそうなこと

CLEAN&SAFETYへのつながり・展開